



59期生が入学！新たな気持ちでスタート！

4月4日(木)、第59期生95名を迎え、入学式を行いました。令和の年の最初の東三国中学校の新1年生です。入学式では、校長先生から「中学時代の目標を立て、考えることから逃げない人になってください」「互いに高め合うよい人間関係を作ってください」「よりよい学校を皆の力でつくりあげてください」と、中学校生活の一步を踏み出すにあたりお話をしました。



▲59期生入学式



▲新入生誓いのことば

また、東三国中学校の4つの約束、①「あいさつをしよう」②「5分前行動をしよう」③「校内美化に努めよう」④「申し合わせ事項を守ろう」について守ってほしいとお願ひしました。



▲教科書を渡す3年生



▲笑顔で話しかけます

上級生の3年生から、新しい教科書を一人一人に手渡してもらい、優しく声をかけてもらっていました。4月8日の始業式後の対面式では、生徒会から新1年生へ歓迎の言葉がありました。3年間の中学校生活のよいスタートがされたことと思います。



▲対面式で歓迎の言葉

部活動紹介・体験！学年をこえ3年間活動を！

4月10日(水)、1年生への部活動紹介が行われ、各クラブの先輩たちが工夫をこらした紹介をしてくれました。1年生は、手作りの部活動紹介の冊子を見ながら、入部するクラブを決める参考にしていました。



▲各クラブの部活動紹介

翌日から、2週間は部活動体験が放課後に行われています。3年間続けて頑張れる部活動を見つけて、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。

東北ボランティア研修！Jrリーダー10名参加！

3月25～26日、今年で4回目となる東北ボランティア研修に、ジュニアリーダー10人が参加しました。その研修の様子を始業式のあとに報告してくれました。



▲東北研修の報告会

飛行機で650km離れた仙台空港に到着し、東北学院大学に向かいました。震災当時中学生だった大学生との交流を行い、震災当時の事や震災後の活動などについて教えていただきました。



▲東北学院大学生との交流

今回のために、いろいろ調べてくださり、プレゼン画面でわかりやすく、中学生からの質問にも答えていただき、有意義な交流ができました。

南三陸に移動し、水戸辺漁港から漁船に乗り、震災復興のシンボルである養殖カキの収穫を体験しました。漁港では、ワカメのメカブ削ぎの体験もしました。



▲ワカメのメカブ削ぎ体験

被災した防災対策庁舎の跡地の献花台で、全校生徒が折った千羽鶴を献

納し、被災された方のご冥福をお祈りしました。

復興されたさんさん商店街に寄って、宿泊するホテル観洋に到着しました。ホテルでは女将さんから震災直後の様子をプレゼンで写真を見ながらお話がありました。Jr.リーダー達は熱心に聴いてメモをとっていました。



▲防災対策庁舎について聴く

2日目は、石巻市の大川小学校を訪問しました。大川小学校では、震災で74名の児童と10名の教職員が亡くなっています。地震の51分後に津波が到達しましたが、その間、運動場に集まったままで、



▲ホテル女将さんのお話



▲大川小学校の校舎前で



▲重なるように亡くなった場所

高台への避難する判断ができず尊い命が失われたのです。高台は児童が椎茸栽培をしていた場所で、学校のすぐ裏にあったのですが、結局そこに避難することなく、川辺の三角地帯を目指して避難している最中に、津波が川をさかのぼり、新北上大橋ではねかえってきた津波にのまれたのです。

ホテル観洋の伊東さんからの話を聞き、Jr.リーダー達にとって重く心に残る訪問となりました。

東松島震災復興伝承館や子供未来創造校KIBOTCH(キボッチャ)を見学し、東松島のジュニアリーダー達と、互いの地域料理を作ったり、Jrリーダー活動状況の発表や意見交流を行い、帰阪しました。



▲KIBOTCH(キボッチャ)

たくさんの地域の方、PTA、保護者の方にお見送りいただきありがとうございました。この貴重な体験を、防災・減災の取り組みに生かしていきたいと考えています。



▲東松島Jr.リーダーと交流